

～つながり・支え合いのあるまちづくりのために～
「地域共生社会シンポジウム」の置賜初開催について

標記について、下記により実施しますので、周知及び当日の取材についてお願いします。

1 企画趣旨

「地域共生社会」とは、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のことです。

少子高齢化や人口減少等で、社会を取り巻く現状が大きく変化し、福祉ニーズも多様化・複雑化する中、今回のシンポジウムでは、置賜地域で「地域共生社会」の実現をめざす各分野の取組みに学び、人々が地域とつながり支え合いながら、安心して生活できるまちづくりの機運醸成を図ります。

2 事業の特徴

- ・地域住民や地域の多様な主体が参画した特長ある取組みを行う団体による事例発表
- ・置賜総合支庁としては初の取組み

3 事業の概要

- (1) 日 時 令和6年12月5日(木) 午後2時から午後4時
- (2) 場 所 シェルターなんようホール(南陽市文化会館)小ホール
- (3) 対象者 自治会長、民生委員・児童委員、主任児童委員、自立支援協議会委員等、地区サロンや老人クラブ等関係者、保健・医療・福祉・教育関係者など
- (4) 内 容 シンポジウム テーマ「つながり・支え合いのあるまちづくりのために」
コーディネーター

山形県立保健医療大学大学院 保健医療学研究科 教授 安保 寛明 氏
各分野で展開している地域共生の取組みについての報告

- ① コミュニティセンターや地区公民館の取組み
- ② 地域住民の取組み
- ③ 若者支援団体の取組み
- ④ 福祉団体の取組み
- ⑤ 学校の取組み

4 申込み 令和6年11月22日(金)まで、やまがたe申請等で申込み



【問合せ先】

担 当:置賜総合支庁 地域保健福祉課
シニア専門員 伊藤京子
電 話:0238-22-3015
報道監:総務企画部長 佐々木秀徳